



のとしすの1年

令和2年度 能登島地域づくり協議会 活動報告書

2020



会長あいさつ

時下、益々の清栄の事とお喜び申し上げます。

日頃より、能登島地域づくり協議会に色々ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、令和 2 年度（2020 年）は世界中で蔓延する新型コロナウイルスが猛威を奮い、日本国内でも緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置で日本経済を衰退させました。この状況の中、仕事に対する手法も在宅勤務やテレワーク、オンラインでの会議等、さまざまな取り組みが出て来ました。又、東京オリンピック大会も一年延期の事態となり非常に残念であります。

能登島地域づくり協議会でも指定管理制度導入から 1 年が経過しましたが、コロナ禍で各種イベントが全て中止とさせていただいた事に大変申し訳なく思っています。この状況が一日も早く終息し早く元の状態に戻る事を祈る次第です。

この様な中ではあります。令和 2 年 1 2 月に北陸農政局から令和 2 年度北陸農政局「ディスカバー農山漁村（むら）

の宝」に選定され、表彰を受けました。これは協議会の取り組みが評価された事です。事務方の皆さんはじめ、能登島全員の協力の賜物と深く感謝する次第です。

これからも能登島の皆さまが一人でも多く参加出来る行事を模索して行きますが、皆さんのご意見も聞かせて貰えれば幸いです。

最後に能登島住民全員の気持ちを一つにして、より良い環境と安心して住める活力ある能登島にしてゆきたいと思っておりますので、皆様方の御尽力、ご協力を宜しくお願い致します。



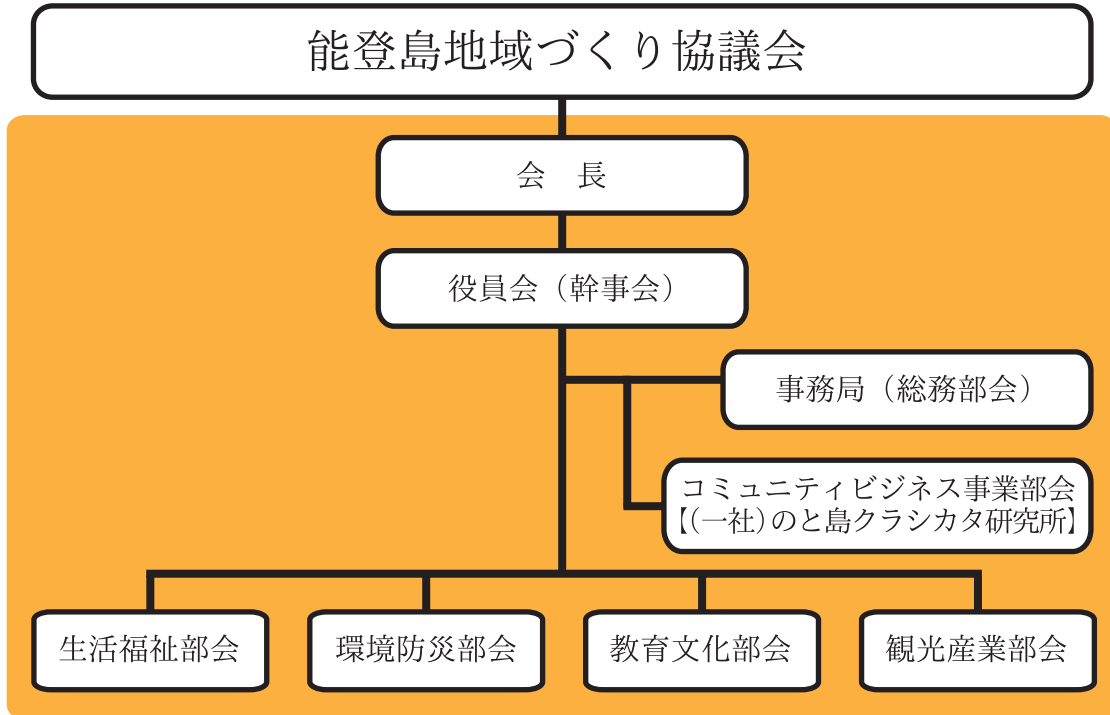
能登島地域づくり協議会
会長 米田 晴行

目次

会長あいさつ	1
運営組織図、部会構成	2
将来ビジョン・能登島のいま	3
令和 2 年度カレンダー	4
《活動報告》	
総務部会	5
生活福祉部会	7

教育文化部会	9
観光産業部会	10
環境防災部会	11
コミュニティビジネス事業部会	12
地域おこし協力隊報告 能登島の酒プロジェクト	13
令和 2 年度収支決算報告	14

運営組織図



部会構成

◆総務部会

事業内容：
各部会の連絡調整及び広報、その他地域活性化に関すること
構成メンバー：
地域づくり協議会幹事会・事務局

◆教育文化部会

事業内容：
社会教育及び文化振興に関すること
構成メンバー：
教育委員、小学校、中学校、幼保園、文化協会
能登島支部、社会教育委員、PTA、女性団体協議会、青年団、ボランティア団体、図書館評議員

◆生活福祉部会

事業内容：
地域福祉及び健康づくりに関すること
構成メンバー：
町会連合会、女性団体連絡協議会、民生児童委員協議会、地域福祉推進員、老人クラブ連合会、生活介護支援サポーター、介護医療関係

◆観光産業部会

事業内容：
地域産業の振興に関すること
構成メンバー：
観光協会、農業振興協議会、能登鹿北商工会
能登島支所、能登島交通、能登島ペスカグリネットワーク

◆環境防災部会

事業内容：
地域の防災・交通防犯、環境保全に関すること
構成メンバー：
町会連合会、女性団体協議会、老人クラブ連合会、民生児童委員協議会、地域福祉推進員、防災士、消防団、介護医療関係

◆コミュニティビジネス事業部会

事業内容：
収益を伴う地域貢献事業に関すること
構成メンバー：
(一社)のと島クラシカタ研究所

将来ビジョン

全ての島民が郷土愛に満ち溢れ、
島の恵みとともに心豊かに暮らし続ける島



**島の恵みを
味わい続ける**



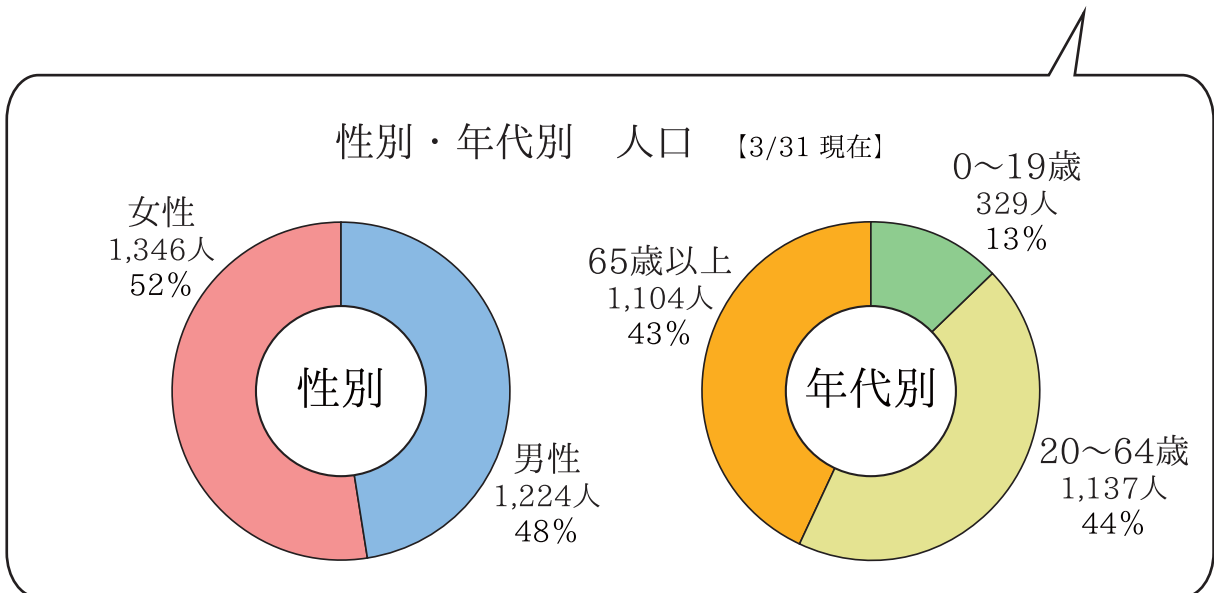
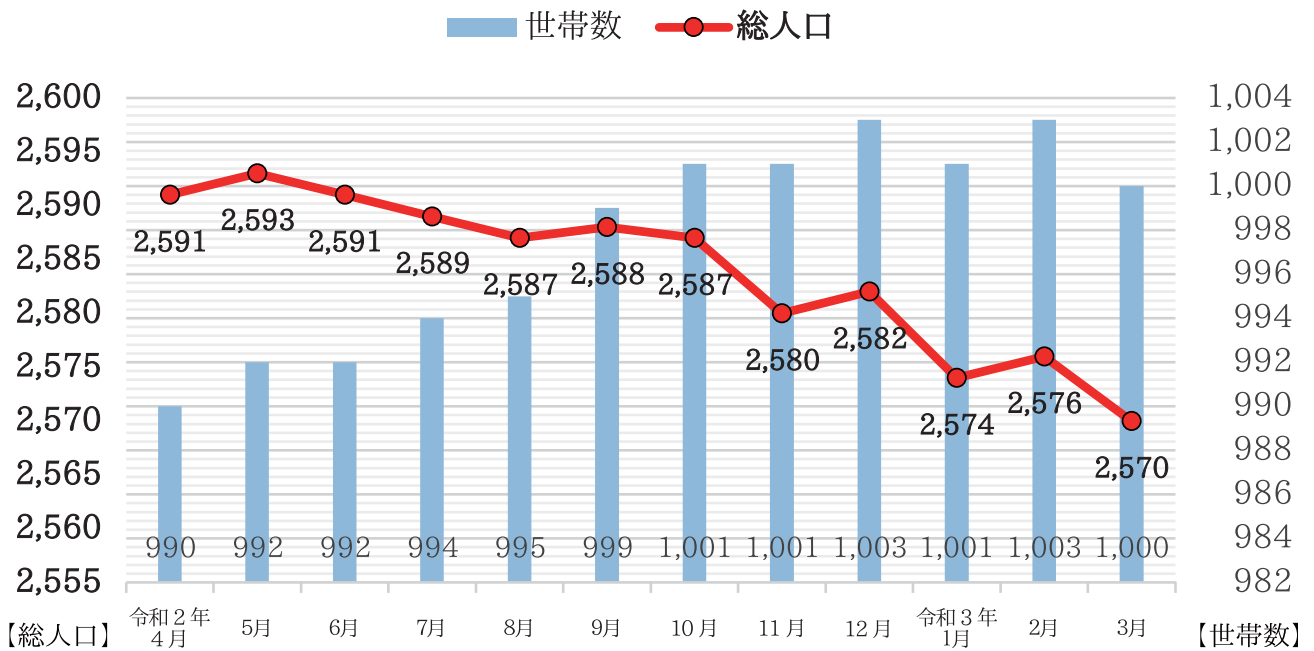
**島の絆を
深める**



**能登島の暮らし
を自慢する**

能登島地域づくり協議会は、能登島のすべての島民が自然の恵みとともに心豊かに暮らす“のとじま暮らし”をいつまでも満喫し続けるために、島の暮らしに誇りを持ち、「島の恵みを味わい続ける」「島民の絆を深める」「のとじま暮らしを自慢する」ことに取り組みます

能登島のいま



令和2年度 カレンダー

- 2020.4月 交通安全祈願祭
町会連合会 総会
民生児童委員定例会（以降 毎月開催）
地域づくり協議会 第1回幹事会
地域づくり協議会 総会（書面表決）
能登島地区運動会 実行委員会
- 5月 能登島観光協会 役員会
能登島観光協会 総会（書面表決）
ロードレース大会 実行委員会
コミセン周辺環境整備（中止）
第16回 能登島地区運動会（中止）
- 6月 能登島こども会議 準備会
ひょっこり能登島見守り隊 総会
教育文化部会 第1回部会
生活福祉部会 第1回部会
のとじま豊稔会 第1回理事会
のとじま豊稔会 総会（書面表決）
マツタケ山研究会 総会
町会連合会 定例会
まあそいカフェ プレオープン
- 7月 まあそいカフェ 営業開始（～12月まで）
2020 能登島ロードレース大会（中止）
地域づくり協議会 第2回幹事会
全国地域づくり協議会事例発表
民児協・福祉推進員合同研修会
こどもキャンプ
- 8月 能登島地区戦没者追悼法要
地区青年団 団長会議
ひょっこり能登島見守り隊 ナイトパトロール
マツタケ山研究会 環境整備
能登島ふれあいまつり 第1回実行委員会
能登島子ども会議
教育旅行 受入（～10月まで）
- 9月 教育文化部会 第2回部会
地引網体験
学習田 稲刈り
環境防災部会 防災部会会議
町会連合会 第2回 定例会
- 10月 学習米 贈呈式
能登島ふれあいまつり 実行委員会
関東七尾の会 ZOOM 発表
ベスカグリネットワーク 定例会
能登島子ども会議 WS
地域づくり協議会 第3回幹事会
地域交通委員会 発足
福祉推進委員 会議（中止）
- コミセン周辺環境整備
のとじま豊稔会 第2回理事会
老人クラブ理事会
能登島子ども会議 動画撮影
- 11月 第5回わいわい能登島ふれあいまつり
ロードレース事務局会議
能登島ふれあいまつり 実行委員会・反省会
老人クラブ理事会
観光協会 教育旅行 PR 動画撮影
第1回協議会長杯 老人スカットボール大会
- 12月 観光協会 教育旅行反省会
歳末高齢者見守り活動
北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝」授与式
町会連合会 第3回 定例会
のとじま豊稔会 田んぼ会議（須曾・南）
視察研修（福井県坂井市竹田地区）
冬休み 宿題おたすけ会
- 2021.1月 七尾市成人式・地区祝賀会
観光協会 県知事表敬訪問
清酒『能登島』 奉納神事
支えあいマップづくり 説明会（半浦）
のとじま豊稔会 田んぼ会議（5地区）
老人クラブ 新春スカットボール大会
能登島ごっつおまつり イベント準備
- 2月 第13回 能登島ごっつおまつり
地域づくり協議会 第4回幹事会
支えあいマップづくり（南・半浦・向田）
すみれ会 総会
のとじま豊稔会 第3回理事会
町会連合会 第4回 定例会
視察研修（小松市・加賀市）
視察研修受入（北陸農政局）
首都圏修学旅行商談会
- 3月 能登島観光協会 修学旅行オンライン商談会
福祉部会 事例発表（徳田地区）
環境美化ゴミ拾い（万葉マラソンコース）
避難所運営講習会
視察研修（長野県伊那市）
少年少女スポーツクラブ 卒業記念品贈呈式
老人クラブ スカットボール大会
青年団 臨時団長会議
生活福祉部会 第2回部会会議
環境防災部会 第2回部会会議
クラシカタ研究所 魚道モニターツアー
町会連合会 臨時総会
能登島観光協会 役員会

総務部会

イベント

わいわい能登島ふれあいまつり

能登島の住民が一丸となって開催できるお祭りをと始まった「ふれあいまつり」も5回目を数えることとなりました。

今年は、新型コロナの影響で展示のみの開催になりましたが、開催期間の3日間で延べ200名以上の方々にご来場いただき、例年には及ばないながら盛況のうちに終わることができました。

廊下全体を使ったのとじま幼保園の園児さんによる作品をはじめ、文化協会能登島支部の皆さんや地区女性会の各支部、小学校、のとじまデイサービスさんなどの団体作品と、有志の個人作品が展示されました。

中止となった屋外の舞台発表の代わりに行った動画放映では、幼保園年長児による「よさこい」、小学校4年生の「雨乞い太鼓」、琴城流大正琴なな華、能登香島中学校吹奏楽部の他、能登島こども会議の内容を小学校6年生が自分達で撮影・編集した動画などを展示し、たくさんの方にご覧いただきました。



令和2年度 中止になったイベント

- ◆第16回 能登島地区運動会
- ◆2020 能登島ロードレース大会

視察研修

竹田文化共栄会 視察

12月22日(火)、地域づくり協議会の視察研修で福井県坂井市竹田地区の「一般社団法人竹田文化共栄会」を訪問しました。当日は幹事と事務局15名が参加し、竹田文化共栄会が指定管理を受けて運営する農山村交流センター「ちくちくぼんぼん」で、所長の大川貞幸さんからお話をお聞きしました。

竹田地区では平成25年に「竹田の里将来ビジョン」を策定し、3つのキーワード①「こども・グリーンツーリズム」(こどもや若者の夢と心を育む)・②「食」(竹田の恵を五感で味わう)・③「福祉」(お年寄りが楽しく健康に暮らす)を軸に、既存施設の利活用案を検討しました。平成28年に旧竹田小学校をリノベーションしてオープンした「ちくちくぼんぼん」は、食堂と宿泊施設を備え、山に囲まれた竹田の環境を活かした多様な体験プログラムを提供しています。若者の雇用の場となり、地域外との交流によりさまざまな取組が生まれています。



表彰・受賞

「ディスカバー農山漁村の宝」に選定

令和2年度北陸農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」のコミュニティ部門に能登島地域づくり協議会が選ばれ、12月18日に金沢合同庁舎で開催された選定証授与式及び意見交換会に出席しました。夏休みのとじま子どもキャンプなどの体験プログラム、ふれあいまつりの開催、「能登島まあそい」ブランドの商品開発、能登島新聞の発行などの取組を評価していただきました。

公民館報コンクール 奨励賞受賞

全国公民館連合会主催の公民館報コンクールでは、公民館の広報活動向上のために、公

民館報（公民館だより等）を広く募集し、優れた公民館報を表彰しています。

この度、能登島地域づくり協議会が発行している『能登島新聞』が応募総数 148 件の中から奨励賞を受賞しました。

ふるさとづくり大賞 紹介動画公開

能登島地域づくり協議会が令和元年度ふるさとづくり大賞（総務省）に選ばれたことを受け、活動内容を紹介する動画が 1 月 15 日から Youtube で公開されました。

一般財団法人地域活性化センターが取材・作成して、Youtube チャンネル「地域づくり TV」に掲載されています。協議会事務局の活動のようすや地域づくりへの思いがまとめられていますのでぜひご覧ください。（Youtube にて「能登島地域づくり協議会」で検索）

事例発表

地域づくり団体都道府県協議会会長 会議

7 月 20 日（月）、全国の地域づくり団体の長と行政の担当課長に向けての研修会で、能登島地域づくり協議会の事例発表を行いました。

本来は全国から集まっての研修会となる予定でしたが、東京都内のコロナウイルス感染症の増加傾向を受けて、オンラインでの発表となりました。ふれあいまつりやロードレースの取組、こども会議や移動販売など各部会の活動、またコミュニティビジネスの取組について発表し、意見交換を行いました。

関東七尾の会 ZOOM 発表

10 月 11 日（日）に「関東七尾の会」のオンライン情報交換会にて能登島地域づくり協議会の活動を紹介しました。関東七尾の会は関東地方在住の七尾・旧三町出身者や通勤・通学経験者同士の交流のための団体で、ふるさとでの地域づくりの取組を会員に紹介したいとのことで、地域おこし協力隊の白畑さん（中島地区）、任田さん（高階地区）と一緒にオンライン（ZOOM 会議）で発表しました。また、1 月 24 日発行の「関東七尾の会便り特別号」にて茶谷新市長のメッセージとともに紹介文を掲載していただきました。

地域交通委員会 発足

これからの能登島の“足”、移動の困りごとにどう対応していくか、有志のメンバーを募って考えるため、「地域交通問題検討委員会」を協議会に設置し、視察研修を行いました。

やまとグループ株式会社（小松市 2/26）

腎臓疾患がある方などのシニア向け医療食の配食事業を中心に、「縁側サロン」などのコミュニティ事業や有機農業など地域づくりに積極的に取り組んでいます。

「やまとビレッジ」構想を掲げ、ビジネスを通して地域のさまざまな課題を解決することを目指しています。

加賀市役所（加賀市 2/26）

地域の「足」確保と行政のデジタル化

加賀市では日本創成会議の「消滅可能性都市」に南加賀地区で唯一選ばれたことから危機感を強め、デジタルの先端技術を使って地域課題の解決、新規事業の創出などを行うことで人口減少に歯止めをかけるため、「スマートシティ課」を立ち上げました。

事前予約の乗り合いバス「のり合い号」の取組についても伺いました。

伊那市役所（長野県伊那市 3/9・10）

デジタルを活用した生活支援と移住促進

ドローンを使った買い物支援・物流システムとオンライン診療ができる移動医療車（モバイルクリニック）の取組や、デマンド（申込制）乗り合い「ぐるっとタクシー」などのお話を伺いました。また、小学校を核とした地域づくりに取り組んでいる新山地区で、市が運営する田舎暮らしモデルハウスを視察しました。

特色ある教育に取組み、地域外からも児童の受け入れを進めて一度閉鎖した保育園が復活するなど移住促進に力を入れています。



生活福祉部会

支えあいマップづくり

能登島地域づくり協議会では七尾市社会福祉協議会と協力して、地域での見守りを見える化する「支えあいマップづくり」の活動を進めています。

支えあいマップづくりとは、在所の人達のことを良く知っている「世話焼き」さんたち数人に集まってもらい、聞き取り役（インストラクター）が、高齢一人暮らしの方などの気になる方がどこにいて、隣近所や地域の方とどういった繋がりがあるか、という「関係性」を詳しく聞き取りながら、地図上に表していき、地域の見守りに「穴」がないかを確認し、見守りが必要な気になる人について、地域でどんなことができそうかを考えます。

今年度は2月に南（2月12日）、半浦（2月17日）、向田（2月25日）の3町会でマップづくりを行いました。

メンバーは、主にマップ作りに参加する地域の方3～4人と、オブザーバーとして町会長さん、民生児童委員さん、地域福祉推進員さん、老人クラブ会長さんなどに参加していただき、その後にマップづくりで挙げた気になる方や集落の課題について事務局で取りまとめたうえで、各在所で相談しながらできることを考えて取り組んでいきたいと思えます。



民生委員・福祉推進委員 合同研修会

例年の恒例事業として生活福祉部会主催で合同研修会が開催され、26名の参加のもと実施されました。

今年の研修内容は、新たに就任した民生児童委員や地域福祉推進員も多くいるため、七尾市と社会福祉協議会の担当者を講師に迎え、それぞれの役割や七尾市の高齢者福祉サービスの制度、緊急ファイル、高齢者世帯台帳、災害時要援護者避難支援台帳などの登録や活用の基礎知識について2時間を超える研修をしました。

参加者からは、高齢者福祉サービスの手続きの簡素化や災害時要援護者避難支援台帳の地域での共有化、緊急ファイルによる一括した登録の要請など活発な意見交換も行われ、充実した研修会となりました。



徳田地区で事例発表会

3月4日（木）、徳田地区まちづくり協議会から依頼を受けて、徳田地区コミュニティセンターで能登島の取組を紹介してきました。

令和元年度に行った高齢者を対象とした生活支援ニーズアンケート調査や、アンケート結果を受けた移動販売のルートづくりや買い物・移動難民への支援に向けた取組、すみれ会の配食事業などについて紹介しました。徳田地区もアンケート調査を行い、今後の取組を検討していくとのことでした。



地区老人スカットボール大会

今年度は、2回の高齢者スカットボール大会を行いました。

11月27日(金)、学習センターで地域づくり協議会長杯高齢者スカットボール交歓会が新たなる交歓会として行われました。

大会には、向田2チーム、曲2チーム・半浦2チームに西部チームと須曽チームの計8チームが参加し、予選リーグ後、上位4チームが決勝トーナメントを競いました。



学習米贈呈式

10月5日(月)、小学校で学習米の贈呈式が行われました。

能登島小学校5年生が、毎年取り組んでいるお米作り。今年は新型コロナの影響で田植えと稲刈りができず、子供たちはとても残念がっていました。

5年生代表の土井權君と山本愛葉ちゃんは、「今年は、新型コロナの影響で田植えも稲刈りもできませんでしたが、高橋さんや地域の皆さんに助けられてできたお米です。ぜひ使ってください。」と収穫した学習米30kgを2袋寄付してくださいました。

生活福祉部会長の出島会長が「地区のお年寄りに毎月2回配食しているお弁当に使わせてもらいます」とありがたくいただきました。



スポーツクラブ 卒業記念品贈呈式

3月19日(木)、コミュニティセンターで能登島少年少女スポーツクラブの卒業記念品贈呈式を行いました。

各スポーツクラブの卒業生に参加してもらい、協議会長から卒業に向けてのお祝いのお言葉をいただき、記念品を授与してもらいました。



戦没者追悼法要

8月4日(火)10時より、能登島地区遺族連合会主催の戦没者追悼法要がコミュニティセンター和室にて開催されました。遺族22名が出席して戦没者を偲びました。

新型コロナウイルス感染予防のため、七尾市遺族連合会長などの来賓に自粛いただき、遺族のみで実施されました。



教育文化部会

能登島子ども会議

小学校と共同で実施している能登島子ども会議も今年で5回目となりました。この事業では、能登島の里山里海を守ってゆくために子ども達がアイデアを考えて「子ども会議」で発表します。投票で1位となったアイデアは、ふれあいまつりで出店・展示・発表などの形で実現します。

当日は5年生19人と6年生15人が全8グループに分かれて、能登島の良いところや困っていることを調べてやりたいことを考えた結果を発表しました。投票の結果、テーマは能登島の野菜やフルーツを使った「ソース手作り ピザぱん屋」に決まりました。

今年のふれあいまつりは、新型コロナウイルスの影響で、縮小開催となったので、子どもたちが企画動画を作成し、ビデオ放映をすることになりました。

動画撮影の際、自分たちでピザパンを作る工程を撮影し、見直してはまた撮影を繰り返し、動画編集をしたり、動画の構成や配役を考えながら工夫して作成しました。

ふれあいまつり当日には、たくさんの来場者に見ていただくことができました。



宿題おたすけ会

地域の拠点施設としてコミュニティセンターに親しみを持ってもらい、世代間交流にもなればと、小学生が地域の大人と一緒に宿題をする「宿題おたすけ会」を開催し4年が経ちました。持ち寄って宿題を一緒にしたり、皆でカレーライスを食べたりするのを楽しみに、毎回約15名が参加してくれています。



地引網体験

9月9日(水)、鰻目町勝尾崎キャンプ場砂浜で能登島小学校の6年生16名が、環境学習で地引網を行いました。

今年も、沢山の魚が獲れ、水族館の職員さんから捕まえた魚の生態について教えて頂き、よい学習になったようです。そして協力していただいた、鰻目町会長の坂本隆さんから海の環境等についてお話を聞きました。観察後、魚は海に帰しました。



七尾市成人式・地区祝賀会

1月10日(日)、令和3年七尾市成人式が七尾市文化ホールで盛大に開催され、能登島地区からは16名の新成人が参加しました。

今年のテーマは、「New Generation～今を乗り越えて～」。今年は新型コロナウイルスの影響により開催も危ぶまれましたが、式典中はマスク着用で一席ずつ離れて座ったり、国歌斉唱や市民憲章の唱和は心の中で唱えるなど、感染防止対策を徹底して執り行われました。記念行事では、各地区の小中学校の恩師からのビデオメッセージが放映されました。

午後からは会場をコミセンに移し、感染防止対策を講じた上で地区祝賀会を縮小して開催しました。

祝賀会には14名が参加し、協議会で作成した小学校時代の思い出フォトムービーを流したり、抽選会をおこないました。会場には、小中学校の恩師からお祝いのメッセージを頂き、それを見て思い出話に花を咲かせていました。



観光産業部会

能登島ごっつおまつり

第13回を迎えた『能登島ごっつおまつり』ですが、新型コロナウイルスの状況から今年は2月1日(月)～28日(日)までの期間イベントとして各店舗で開催致しました。

民宿では養殖の「能登とり貝」試食や各々のサービス、飲食施設でも「ごっつおまつり限定メニュー」や「おすすめメニュー」を提供しました。



教育旅行

今年度は、春の受入が全て中止・延期になり、秋の受入がメインとなりました。

体験が中心となり宿泊に結びつく事は少なかったのですが、10年来の常連校は日帰り終日体験、石川県内からの学校の受入もあり、近場の体験として再認識していただけるきっかけになったと思います。

とは言え、コロナ禍が早く収束し、教育旅行を通じて能登島を少しでも発信出来るよう努めたいです。



環境防災部会

交通安全祈願祭

4月6日(月)、能登島地区の交通安全祈願祭を開催し、島内の各種団体から約50人が無事故を祈り出席頂きました。

式では主催者を代表して地域づくり協議会の米田晴行会長が挨拶し、七尾警察署をはじめ各団体の長が玉串を捧げました。

祈願祭の最後に地元の手芸クラブ「こでまりの会」が作成したネズミの交通安全マスコットを参加者に配布しました。



避難所運営講習会

3月7日(日)に避難所の運営についての講習会を開催しました。

七尾市防災対策室の西川さんを講師にお呼びして、コロナ禍における対応や、一時避難所として町会の集会所を活用する場合の考え方についてお話を頂きました。

コミュニティセンターも市の避難所として指定されていますが、実際に災害がおこったときにはまずは近くの集会所を避難所として利用することが想定されます。そのような場合も、マスク着用、手指の洗浄・消毒、人との距離をとるなどの基本的な感染症対策を一人一人が心がけることが大切だということでした。そのうえで簡易的な設備として、簡単に組み立てができる市販の避難所用パーティションの展示や、段ボールを活用したパーティションの作り方を実演していただきました。



環境整備事業

毎年2回、地域づくり協議会に所属する各団体と施設利用者約40名にご協力いただいて、コミュニティセンター周辺の草刈りや樹木剪定、花壇の草むしりやゴミ拾いなど行っています。

3月7日(日)には、万葉マラソン島内コースの環境美化ゴミ拾いを行いました。

新型コロナウイルスの影響で今年も万葉マラソンは中止になり、参加者も少ないかと思われましたが、スポーツクラブの子供達や各団体の方々が参加して下さい、コース上は、大変きれいになりました!



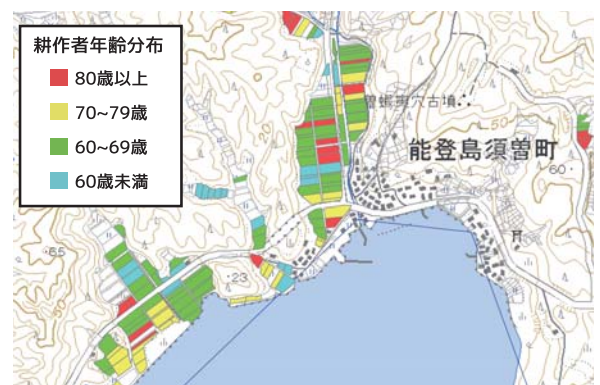
のとじま豊稔会 農地カルテ作成

のとじま豊稔会は、島内の農業生産者の連携を推進し、農地の適正な保全・管理と持続可能な農業生産活動を実現するために平成30年に組織されました。

令和2年度では、中山間地域直接支払交付金事業に取り組む6集落(南、別所、須曾、久木田尻、閨、曲)で田んぼ会議を重ね、地番、面積、地権者、現耕作者、交付金額などをGIS(地理情報システム)を利用して農地カルテを作成しました。今後この農地カルテを利用しながら集落戦略計画を検討します。

◆のとじま豊稔会の構成集落数

- ・中山間地域直接交付金事業 6集落
- ・多面的機能支払交付金事業 17集落



のと島クラシカタ研究所

こどもキャンプ

毎年恒例となっている「2020 夏休みのとしまこどもキャンプ」(のと島クラシカタ研究所主催)を今年も開催しました。

日程は2泊3日、7月27日～29日と30日～8月1日の2回実施しました。今回は感染症対策のため、ガイドラインを作成し、参加者にはマスク着用・手洗い・うがいをしてもらいながらの開催となりました。

1日目は、入村式をした後、向田集落でロゲイニング(まち歩きゲーム)をし、夜はバーベキューをして楽しみました。2日目は、漁港で釣り体験のあと、八ヶ崎海水浴場で磯遊びをしました。3日目は、向田で遊覧船に乗ってから、おにゆりの里で墨流しの書道体験をしました。それぞれ好きな一文字を書きました。お昼には自分で作ったピザをピザ窯で焼いて食べて、あっという間の3日間が終わり、退村式となりました。

10年以上続いているこどもキャンプですが、毎回募集してすぐに枠が埋まってしまう人気プログラムとなっています。これからも長く続けていきたいと思えます。



↑ピザ作り体験



↑SAP体験

まあそいカフェ OPEN

八ヶ崎海水浴場の海の家の一部をリノベーションした「まあそいCafe」が今年もオープンしました。

今年度から漁師の仕事とカフェを兼務しながら運営していただくことになりました。自家焙煎とハンドドリップで提供する美味しいコーヒーをぜひ飲みに来てください。



「魚道を極める」モニターツアー

能登の魚を季節ごとに様々な角度から学び楽しむ企画として、人気のフリーペーパー「Fのさかな」とのコラボでシリーズ化していくことになりました。

今回はモニターツアーとして3月19～21日の日程で開催、今回の魚は「イワシ」。究極の大衆魚ですが、産地以外ではその新鮮さを味わうのが難しい魚の代表格でもあります。

プログラムは、初日に「Fのさかな」をテキストとして講師である岡田大介さん【(株)酢飯屋代表】からの講義に続き、イワシを採るしくみである定置網について網元に講義を受け、翌日は実際に新鮮なイワシを参加者のみなさんと一緒に調理して食べるという流れでした。魚捌きから始まり、お土産用の干物・オイル漬け作り、フライやつみれ汁、真子と白子の一品や湯引き、岡田さんのお寿司も含め、文字通りイワシを堪能していただいた2日間でした。



地域おこし協力隊 活動報告

島の詰め合わせ販売

2019年から始まった能登島の定期市「まあそいマルシェ」は新型コロナの影響で中止となったため、能登島の食材や雑貨を詰め合わせた宅配便「島の詰め合わせ」という郵送販売をしました。

詰め合わせの中には、能登島内の多くの生産者さんやグループの皆さんにご協力いただきまして、能登島で作られた野菜や加工品等の食品と雑貨品等を入れ、能登島らしい商品を遠方地の皆さんのお宅に届くことでコロナ禍でも暖かみのあるつながりをお届けできればと思い企画しました。

婚活イベント in 能登島

七尾市内で生業を持つ男性と出会える婚活イベントを七尾街づくりセンターと共同開催しました。地方や海暮らしに関心のある女性に『能登島に移住したら』を妄想してもらうために1泊2日の宿泊イベントとなる予定でしたが、新型コロナウィルスの影響を受け、オンラインイベントに変更となりました。参加者の反応は上々で楽しくお話ができたようでした。

次の開催は未定ですが、コロナ収束後に大きなイベントをしたいと思っております。

【能登島地区地域おこし協力隊 出島 この美】



能登島の酒プロジェクト

「能登島の酒プロジェクト」とは、「耕作放棄地を減らすこと」「新たな特産品をつくること」「島の人に愛される酒をつくること」を目標に、島の生産者と協力し、能登島の酒米で日本酒をつくるプロジェクトです。

令和元年度からは「のとじま島おこし団」が中心となって活動をしています。

島の酒プロジェクトが始まって6年目の令和2年度は、二穴、長崎、八ヶ崎、祖母ヶ浦、南、須曽の6地区の生産者が合計1町3反の田んぼに酒米を作付けしました。

今年度は、新型コロナウィルスの蔓延で大変な年になりましたが、お米は順調にすくすくと育ち、はじめて2組の生産者が1等を取ることができました。

純米能登島はこれまで1升瓶と4合瓶しか販売していませんでしたが、民宿や飲食店の方からのご要望にお答えし、新たに300mlを発売することとなりました。まだ能登島を飲んだことがないという方もお試しサイズなので、ぜひお買い求めください。

純米「能登島」は道の駅のとじまで販売しています。1升瓶、4合瓶、300mlともにまだ在庫がありますので、ぜひお買い求めください。

酒を注ぐことが、島を継ぐことになる。

「つぐ」それは、人と人を、今と未来をつなぐこと。
2016年、時代とともに消えゆく島の田んぼを守るために、能登島の若き者たちが立ち上げたのが「島の酒プロジェクト」です。酒米づくりから取り組み、島を想う多くの人に交えられながら、「純米 能登島」は完成しました。
人々の心によって磨き、醸された「純米 能登島」。味わうことで島の絆を深めることができ、一升飲むごとに二分分の島の田んぼが守られます。酒を注ぐことが、島を継ぐことになる。能登島を冠するにふさわしい豊かな味わいを、どうぞお楽しみください。

令和3年 1月30日 道の駅のとじま 発売開始

300mL 四合瓶(4樽) 一升瓶(1本)
¥280(税込) ¥1,760(税込) ¥3,020(税込)

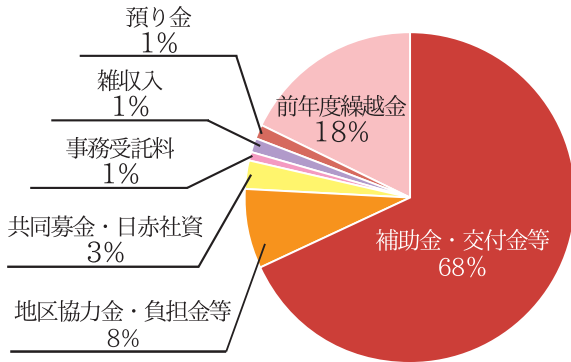
道の駅のとじま TEL:0767-84-0225 (営業時間10:00~19:00/毎週末・お祭日)

能登島の酒 プロジェクト facebook

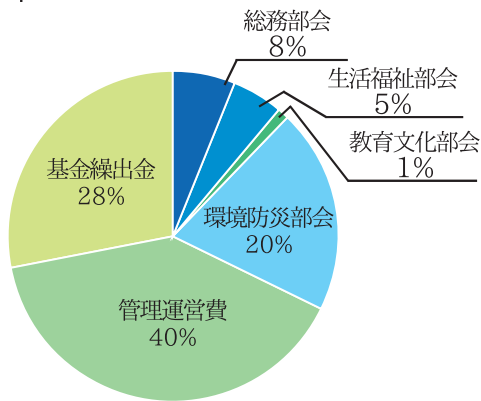
令和2年度 収支決算報告

◆公益事業会計

歳入 総額 24,428,349 円



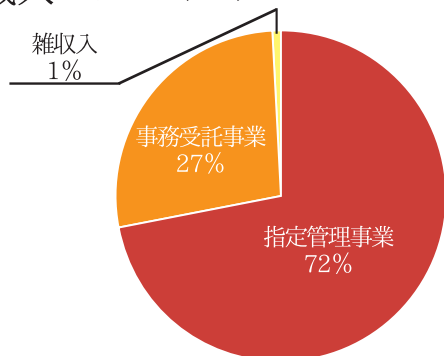
歳出 総額 23,204,099 円



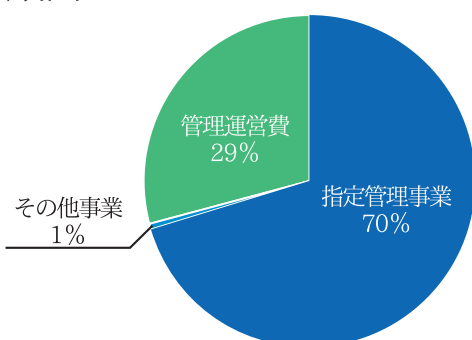
歳入		歳出	
項目	決算額(円)	項目	決算額(円)
補助金・交付金等	16,651,130	総務部会	1,445,566
地区協力金・負担金等	1,896,900	生活福祉部会	1,196,772
共同募金・日赤社資	694,182	教育文化部会	215,947
事務受託料	206,000	環境防災部会	4,672,411
雑収入	301,865	管理運営費	9,173,403
預り金	368,004	基金繰出金	6,500,000
前年度繰越金	4,310,268		
歳入合計①	24,428,349	歳出合計②	23,204,099
		次年度繰越金 (①-②)	1,224,250
		基金高	6,500,000

◆収益事業会計

歳入 総額 11,120,774 円



歳出 総額 10,478,391 円



歳入		歳出	
項目	決算額(円)	項目	決算額(円)
指定管理事業	8,009,000	指定管理事業	7,368,191
事務受託事業	3,030,000	その他事業	80,200
雑収入	81,774	管理運営費	3,030,000
歳入合計①	11,120,774	歳出合計②	10,478,391
		次年度繰越金 (①-②)	642,383



令和2年度 能登島地域づくり協議会 活動報告書
「のとしまの1年」

発行：能登島地域づくり協議会
石川県七尾市能登島向田町ろ部8番地1
能登島地区コミュニティセンター内